

公務員弘済会授賞式

10月22日（金）14：00校長室において、公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部の方々がご来校され、令和3年度スポーツパック事業で、本校が応募したポッチャセット当選の贈呈式がおこなわれました。

公務員弘済会の吉村 参事（元千歳北陽高校校長）より、贈呈書とポッチャが贈呈されました。

ポッチャは、東京パラリンピックの個人戦で、杉村英孝選手が優勝し、注目された競技です。ポッチャセット（5万円相当）は、すでに学校に届いていましたので、選択体育の授業で活用させていただいていました。吉村 様からも昨年度から弘済会事業の2年間連続受賞となりましたが、来年度の応募と、ポッチャの生徒や地域の方々への有効活用を願いたい旨のお言葉をいただきました。

栗山小学校インターンシップ

10月25日（月）、26日（火）の2日間、栗山小学校で、3年生の山口芽生さんのインターンシップに参加しました。将来の夢として、教職員の道を目指す生徒に対して、高校時代にきっかけづくりができないかと、進路指導部が所管して、栗山小学校の長谷川校長先生にご配慮いただき実現できた事業です。

2日目、実習の様子を確認するため、橋本進路指導部長に同行しましたが、3年生の児童と楽しそうに授業参加している姿を見て感動しました。普段の生活では、小学生と触れ合う機会がないので、圧倒的な元気と笑顔で、沢山のエネルギーを貰いました。

栗山中学校長のご来校

10月26日（火）13：30校長室に、栗山中学校の井畑校長先生にご来校いただきました。

コロナ禍で町内の学校連携もなかなか図ることが厳しい状況でしたが、感染状況が収束傾向となり、今年度も残すところ半期を切った今、様々な連携事業の実施に加え、月末に実施される小中高ふるさとキャリア教育体験発表会の確認と、出前授業や教職員交流について懇談しました。

見学旅行の実施

10月27日（水）～29日（金）2泊3日の日程で、2学年の見学旅行が実施されました。

年度当初は、関西方面で計画、その後はコロナ禍もあり、広島県と四国の計画変更をしていましたが、全国的な緊急事態宣言がないことから、旅行行程を1ヶ月前には決定しなければならず、先月に道内旅行に移行し、阿寒や知床（世界自然遺産）を見学地として実施しました。

道内では天候も不安定でしたが、道東は寒さはありませんでした。

煙山教頭先生を団長として、大澤先生、野村先生、佐々木先生、一戸先生、5名が引率団として、帯広、阿寒湖、摩周湖、知床では遊覧船、網走監獄等を見学してきました。

道内の見学旅行となりましたが、北海道の広大さ、自然の素晴らしさを改めて体験できた貴重な時間となり、生徒も満足げな顔で帰校しました。

1 学年 大学見学会

10月28日（木）8：30、1学年生徒が進路選択に向けた大学見学会等をおこないました。

午前中はバスを貸し切って、札幌学院大学の見学プログラム、午後はくりやまカルチャープラザ eki で大学・短大・専門学校の説明をライセンスアカデミーの大澤 様よりお話を伺った後、様々なブースを設定し、生徒達は真剣に受講していました。

3 学年交流会

10月26日（木）3校時より、本校体育館他で交流会がおこなわれました。3年生は進路活動が真っ只中ですが、年度を跨いだ見学旅行が中止となり、生徒達に何か思い出に残る活動が実施できないかと考えられたのが交流会です。活動種目の最後は先生方とのバレーボールもおこない、楽しい時間を過ごすことができました。

自動車運転免許取得保護者説明会

11月5日（金）18：00より、本校体育館において自動車運転免許取得保護者説明会がおこなわれました。

3年生保護者、9割以上が参加して、自動車運転免許取得のため、自動車学校等への入校に向けた期間や約束事について確認され、栗山自動車学校から田中 克周 様が来校され、具体的な費用や入校に向けての事前準備を説明されました。後期中間審査後が最短の入校開始ですが、この後、ご家庭で十分話し合い、自動車運転免許取得に向け、動いていただきたいと思います。

3年生も卒業まで登校日が46日を残すのみとなりましたが、卒業後、次のステップを考えて進路活動を充実させてください。

あいさつ運動

11月8日（月）～11日（木）まで、生徒玄関ホールにおいてあいさつ運動がおこなわれました。

生徒会執行部を中心に各種委員会が、登校してきた生徒への挨拶を通じて、学年を問わず交流できる場として有効な行事です。生徒同士、朝の元気な挨拶で1日明るく過ごせる環境が整い、校内全体が明るくなったように思います。

生徒メンタルヘルス講座

11月11日（木）、12日（金）本校で1・2年生の生徒のメンタルヘルス講座が開催され、北海道医療大学の富家 直明 様にご来校され、1年生は体育館、2年生は各教室で、本校で実施している「ほっと」の分析結果を活用したディスカッションと講義で、コロナ禍において生徒達が抱え込んでいる様々な不安や悩みを講義やグループワークで共有しながら、少しでも生徒個々の気持ちを和らげるため、積極的な活動がおこなわれました。

当日は、同管内の滝川高校教諭が来校され、研修をすすめていました。富家先生におかれましては、今後とも本校生徒の成長に向け、ご尽力いただけることとなりました。